

NSG グループ

2025年3月期 第3四半期決算報告

(2024年4月1日～ 2024年12月31日)

日本板硝子株式会社
2025年2月7日

大河内 聡人
執行役常務 CFO

目次

1. 2025年3月期 第3四半期決算概要
2. 2025年3月期 業績予想について
3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における
財務目標の進捗状況
4. 欧州の事業環境と施策
5. まとめ

1. 2025年3月期 第3四半期決算概要

連結損益計算書

欧州経済減速の影響が建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業において継続。
売上高は為替影響もあり前年同期比で増収だが、営業利益は減益

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	1,925	2,075	150	6,127	6,300	173
営業利益	61	6	△ 55	321	108	△ 213
営業利益率	3.2%	0.3%	△ 2.9pt	5.2%	1.7%	△ 3.5pt
個別開示項目 (純額)	6	△ 25	△ 31	9	△ 25	△ 35
個別開示項目後営業利益 (△損失)	67	△ 19	△ 86	330	83	△ 247
金融費用 (純額)	△ 64	△ 56	7	△ 204	△ 182	22
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	37	-	△ 37
持分法による投資利益	15	12	△ 3	37	37	0
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△ 1	-	1	10	-	△ 10
税引前利益 (△損失)	17	△ 64	△ 81	211	△ 62	△ 273
当期利益 (△損失)	36	△ 59	△ 95	141	△ 93	△ 234
純利益 (△損失)*	37	△ 62	△ 99	135	△ 101	△ 236
EBITDA	170	130	△ 40	650	481	△ 169

売上高は、為替影響もあり自動車用ガラス事業および高機能ガラス事業において増加。
営業利益は、建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業で欧州経済減速の影響が継続

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	△ 4	△ 176
自動車用	+ 131	△ 67
高機能	+ 65	+ 0
その他	△ 19	+ 30
グループ全体	+ 173	△ 213

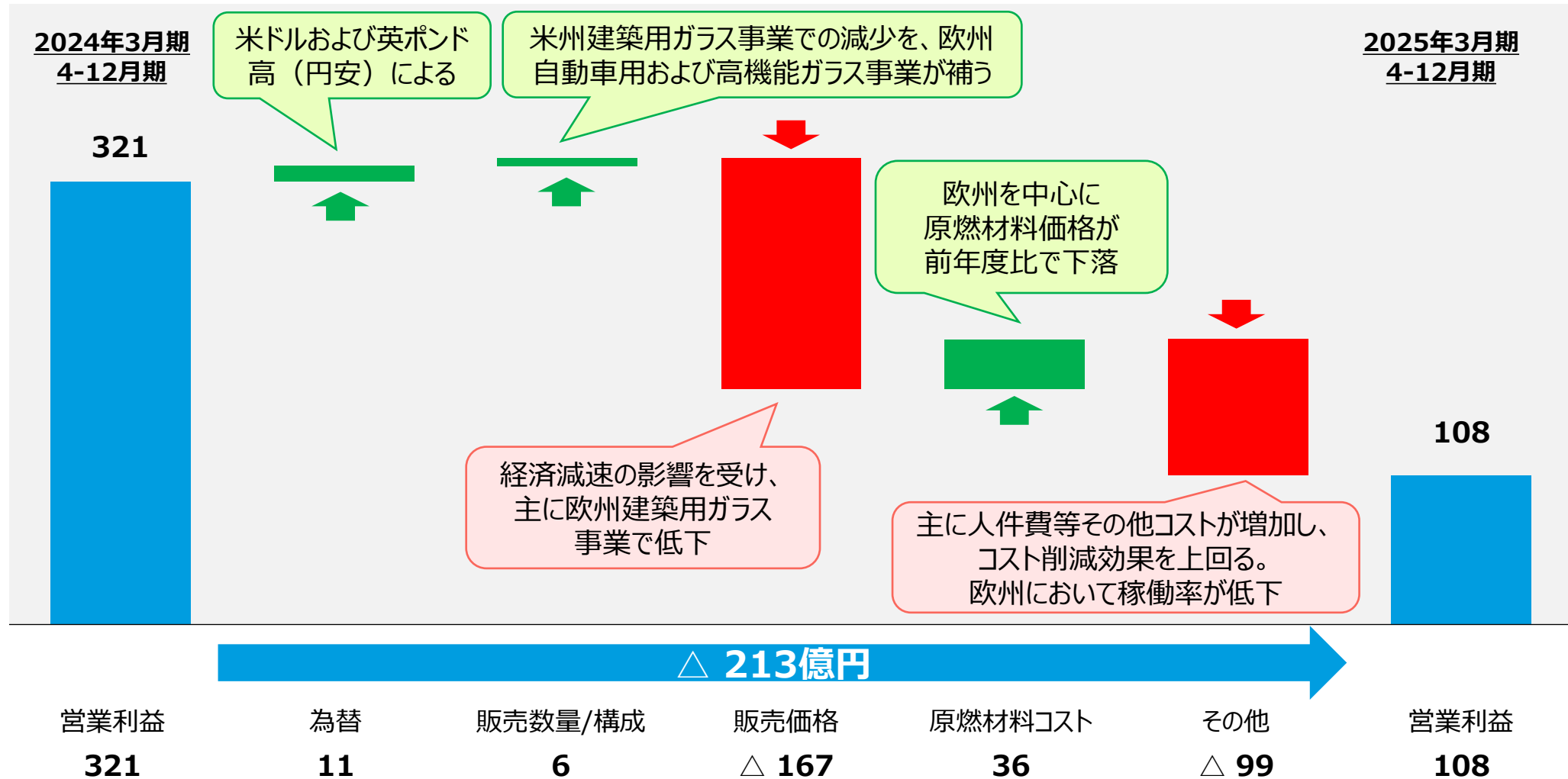
欧米の金利低下に伴い前年同期比減少

前年はロシアJVの売却に伴い、過去に計上した金融債権および投資に対する減損損失の戻入益を計上

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

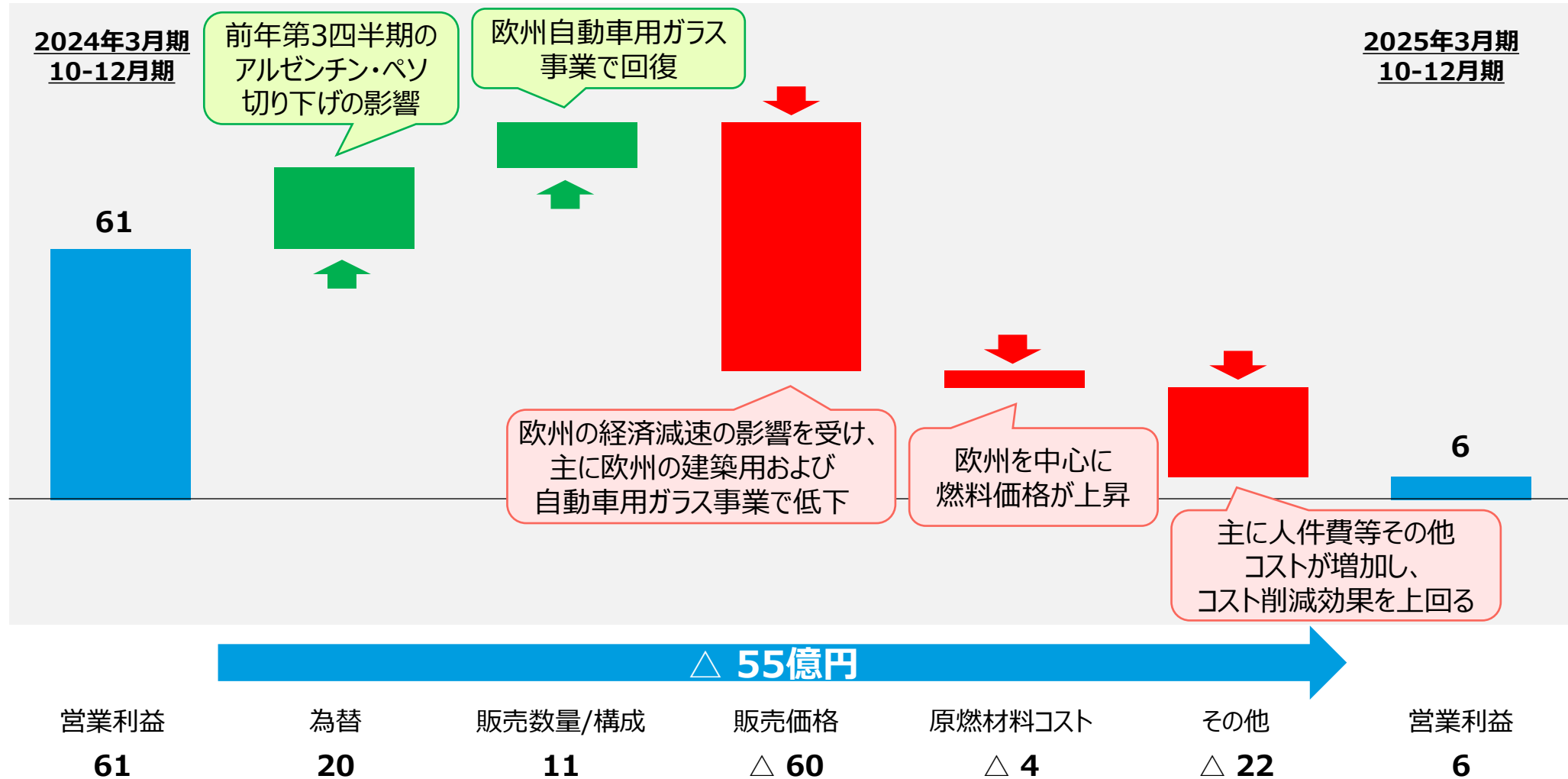
営業利益差異分析 (4-12月期累計)

経済減速の影響を受け、欧州の建築用および自動車用ガラス事業で販売価格と稼働率が低下。
人件費等の増加によりその他コスト増加も継続



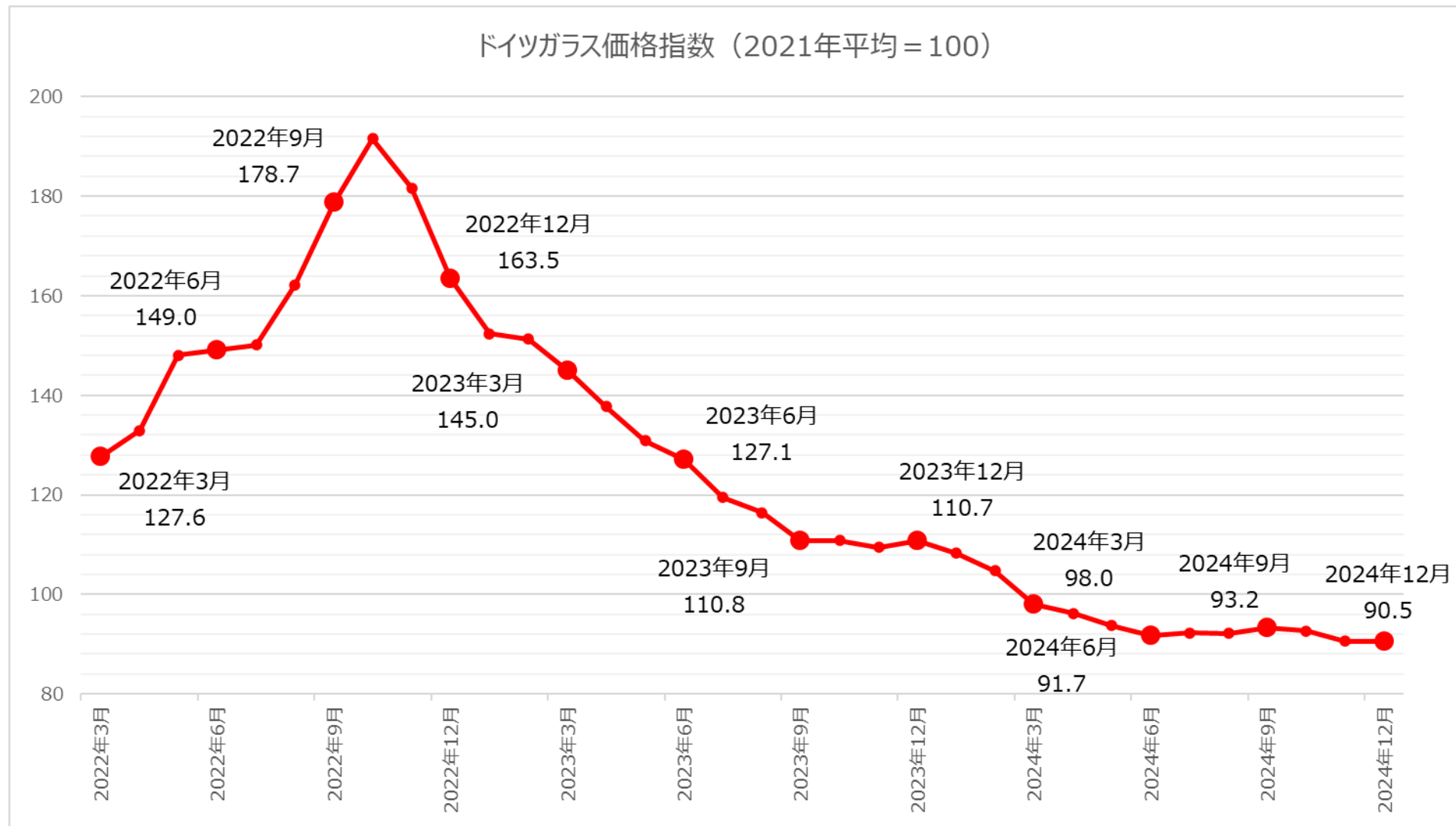
営業利益差異分析 (10-12月期)

経済減速の影響を受け、欧州の建築用および自動車用ガラス事業で販売価格の低下が継続。欧州建築用ガラスの稼働率低下は緩和したが、人件費等の増加によりその他コスト増加も継続



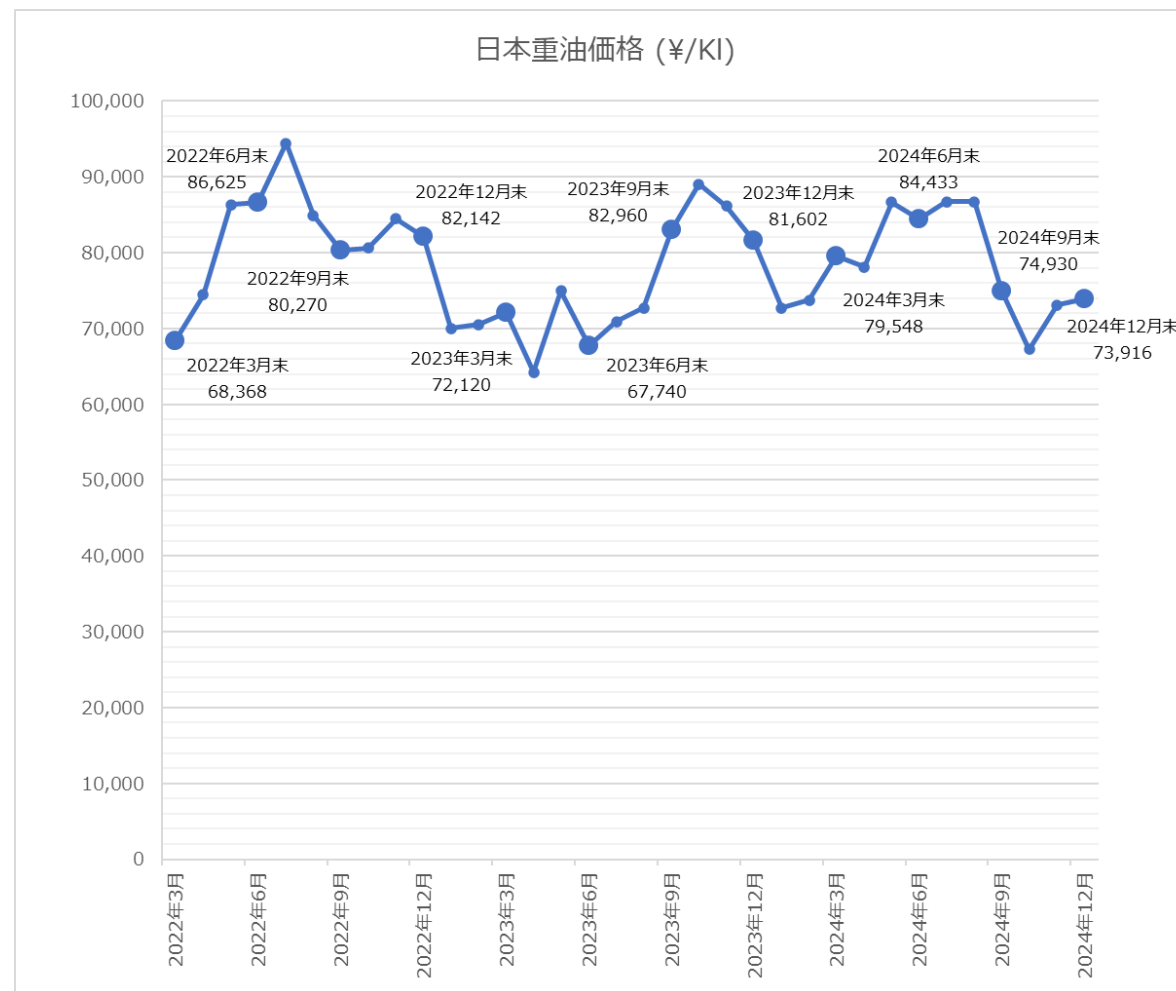
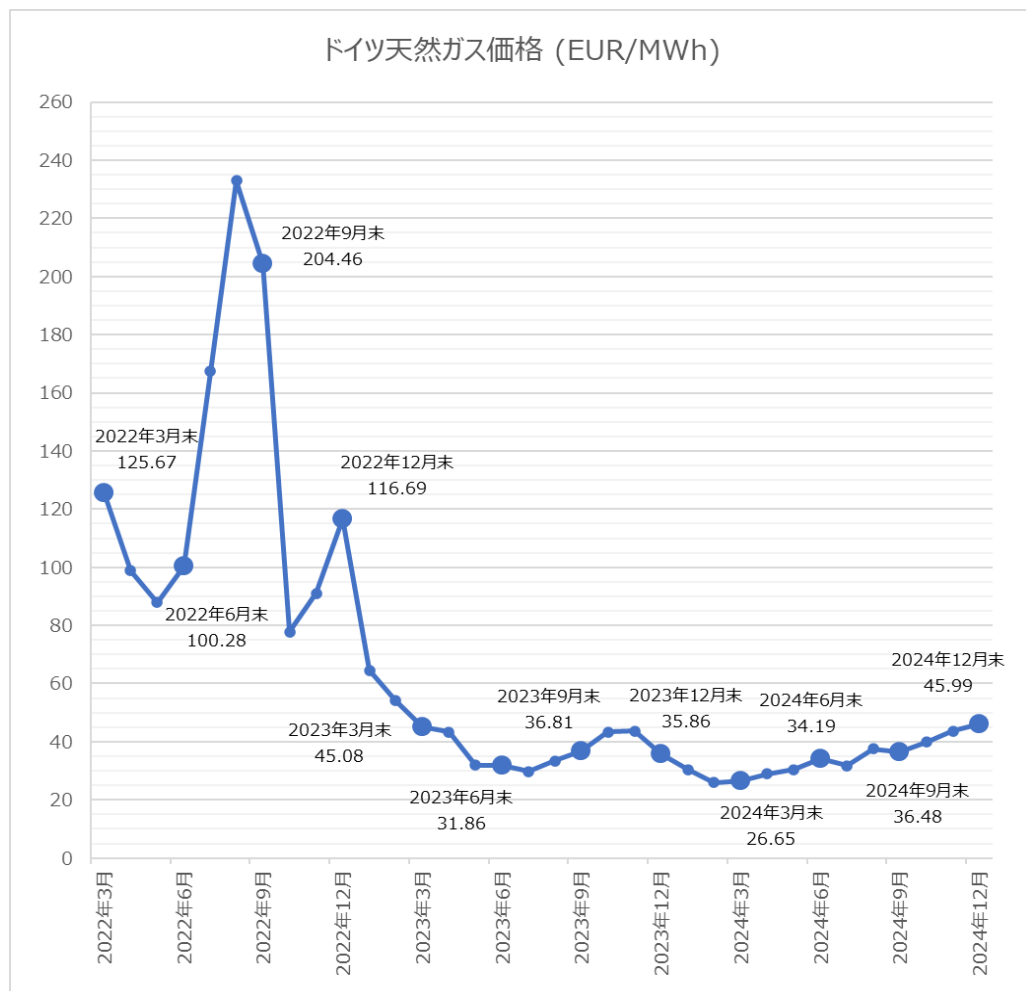
ガラス価格の推移

欧州経済減速に伴う需要減少を反映し、価格が低下



エネルギー価格の推移

ドイツの天然ガス価格：前年度以降安定的に推移しているが、緩やかに上昇傾向
日本の重油価格：引き続き高値圏で推移



連結貸借対照表

自己資本比率は11.7%と前期末比で0.7pt低下。

有利子負債は営業減益、運転資本増加に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより前期末比で増加

(億円)	2024年 3月末	2024年 12月末	増減
資産合計	10,076	10,308	232
非流動資産	6,863	7,198	335
流動資産	3,213	3,110	△ 103
負債合計	8,537	8,752	215
流動負債	3,699	3,328	△ 371
非流動負債	4,839	5,424	586
資本合計	1,538	1,555	17
親会社の所有者に帰属する持分	1,243	1,202	△ 41
自己資本比率 (%)	12.3%	11.7%	△ 0.7pt
有利子負債	5,065	5,654	589

主にアルゼンチンにおける超インフレ調整に伴う有形固定資産の増加

主に仕入債務及びその他の債務の減少

主に有利子負債の増加

アルゼンチンにおける超インフレの調整に伴う資産価値増加があったものの、純損失の計上により自己資本比率は11.7%に低下

主に営業減益、運転資本増加に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスによる増加

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは、営業減益および運転資本増加のため前年同期比で減少。
引き続きフリー・キャッシュ・フローの改善により有利子負債の削減を目指す

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期累計 (9か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	158	△ 30	△ 188	192	△ 68	△ 260
(うち、運転資本の増減)	72	△ 28	△ 100	△ 241	△ 194	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 148	△ 52	△ 316	△ 396	△ 81
(うち、有形固定資産の取得)	△ 119	△ 143	△ 24	△ 397	△ 378	19
フリー・キャッシュ・フロー	62	△ 178	△ 240	△ 124	△ 464	△ 341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 130	188	318	△ 129	499	629
現金及び現金同等物の増減	△ 68	10	78	△ 253	35	288
現金及び現金同等物 期末残高				462	491	29

営業減益および運転資本増加により、前年同期比で減少

戦略投資増加の一方で、全体の投資額を抑制

前年同期比で減少

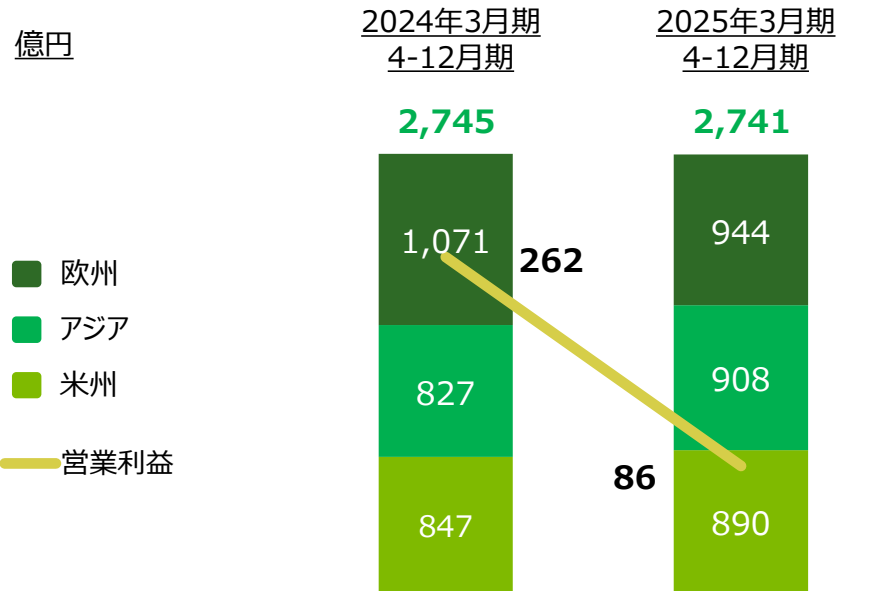
セグメント情報

(億円)	2023年3月期 4-12月期			2024年3月期 4-12月期			2025年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	2,757	49%	262	2,745	45%	262	2,741	44%	86	△ 4	△ 176
欧州	1,180	21%		1,071	17%		944	15%		△ 128	
アジア	748	13%		827	13%		908	14%		81	
米州	830	15%		847	14%		890	14%		43	
自動車用ガラス事業	2,584	46%	△ 11	3,059	50%	93	3,189	51%	26	131	△ 67
欧州	1,076	19%		1,272	21%		1,297	21%		25	
アジア	494	9%		595	10%		613	10%		18	
米州	1,015	18%		1,192	19%		1,279	20%		87	
高機能ガラス事業	298	5%	72	296	5%	57	362	6%	57	65	0
欧州	68	1%		76	1%		74	1%		△ 2	
アジア	218	4%		207	3%		275	4%		68	
米州	12	0%		14	0%		12	0%		△ 1	
その他	23	0%	△ 82	27	0%	△ 91	7	0%	△ 62	△ 19	30
合計	5,662	100%	242	6,127	100%	321	6,300	100%	108	173	△ 213

建築用ガラス事業

(累計：減収・減益 10-12月期：増収・減益)

欧州を中心に販売数量減少と販売価格低下により、前年同期比で減収減益。
太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調に推移、米国で生産能力増強が順調に進捗



(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	816	942	126	2,745	2,741	△ 4
欧州	336	290	△ 47	1,071	944	△ 128
アジア	279	334	55	827	908	81
米州	201	318	118	847	890	43
営業利益	44	20	△ 24	262	86	△ 176

欧州 (累計：減収・減益 10-12月期：減収・減益)

- 経済活動の減速に伴い販売価格が大きく低下
- 市場環境の悪化による影響は投入コストの減少により一部軽減
- ドイツのフロート窯の生産停止により固定費削減
(2024年6月に1基、2025年1月に1基停止)

アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- 日本では販売数量が減少したが、販売価格は安定して推移
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

米州 (累計：増収・減益 10-12月期：増収・増益)

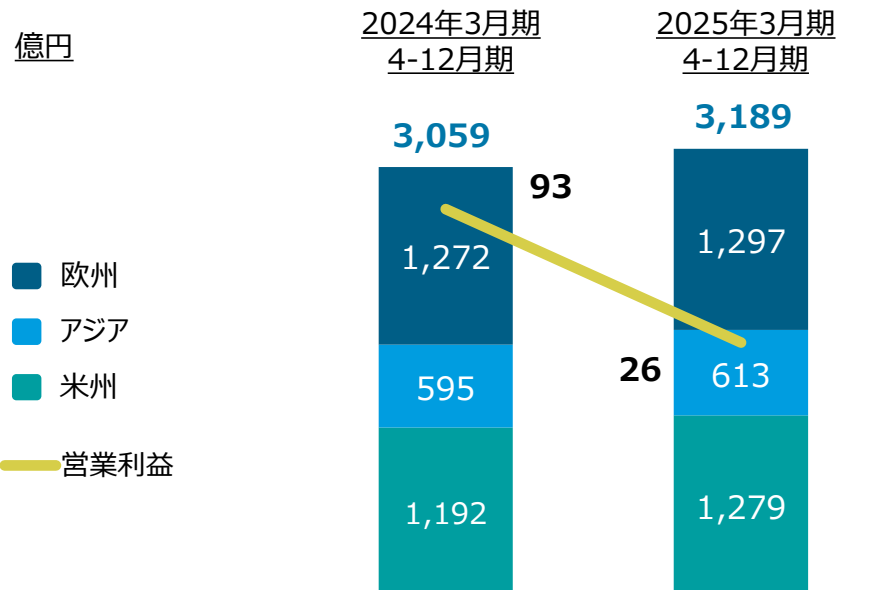
- 北米は商業用不動産市場の需要軟化が継続し、販売価格が低下、販売数量も減少
- 南米は需要減少に伴い販売数量減少だが、販売価格は堅調
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調。
米国の既存フロートラインの転換工事が完了し、1月に火入れ

自動車用ガラス事業

(累計：増収・減益 10-12月期：増収・減益)

売上高は、販売数量回復が遅れているものの円安による影響もあり増加。

営業利益は、人件費等その他コスト上昇および資産稼働率低下の影響を受け減少



欧州 (累計：増収・減益 10-12月期：減収・減益)
 アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)
 米州 (累計：増収・減益 10-12月期：増収・減益)

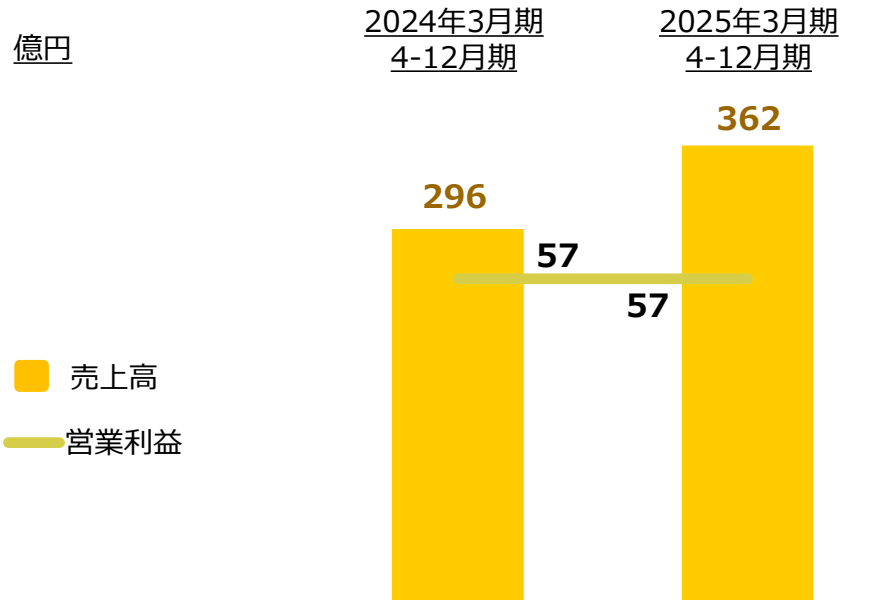
- 販売数量は、欧州での自動車生産減少、アジアと北米の一部取引先での生産停止の影響を受け、回復が遅延
- 原材料およびその他コスト増加を転嫁するための価格交渉が欧州以外ではさらに進捗。一方で、人件費等その他コストを十分に吸収できず、営業利益が減少
- 北米では生産効率の一時低下の影響が継続するが、さらに改善
- ドイツ・ヴィッテン工場生産体制見直しを決定
- 引き続きコスト削減、高付加価値製品の拡大、価格改善を推進

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	1,007	1,016	9	3,059	3,189	131
欧州	434	405	△ 29	1,272	1,297	25
アジア	212	214	2	595	613	18
米州	362	397	36	1,192	1,279	87
営業利益	30	△ 9	△ 39	93	26	△ 67

高機能ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

売上高は多くの事業で需要の回復が継続し増加。
営業利益はその他コスト増加により前年同期と同水準



- ファインガラスでは、一部製品で需要回復に伴い販売数量と価格水準が改善
- プリンター用レンズは、需要が堅調に推移
- グラスコードは補修用市場での強い需要を背景に販売数量が増加
- メタシャイン® は化粧品向けで増加

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	98	115	17	296	362	65
営業利益	17	18	1	57	57	0

2. 2025年3月期 業績予想について

2025年3月期 業績予想

欧州経済減速の影響および施策による個別開示項目費用計上を踏まえ、利益予想を下方修正。
グループ全体でのさらなるコスト削減等、早期の利益改善に向けてあらゆる施策を実施

(億円)	2025年3月期 通期予想 (前回)	2025年3月期 通期予想 (今回)	増減	2024年3月期 通期実績 (参考)
売上高	8,500	8,500	-	8,325
営業利益	260	160	△ 100	359
個別開示項目 (純額)	20	△ 70	△ 90	1
個別開示項目後営業利益	280	90	△ 190	360
金融費用 (純額)	△ 270	△ 250	20	△ 282
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	37
持分法による投資利益	50	50	-	51
持分法投資に関する その他の利益	-	-	-	10
税引前利益 (△ 損失)	60	△ 110	△ 170	176
当期利益 (△ 損失)	10	△ 160	△ 170	109
純利益 (△ 損失)*	0	△ 170	△ 170	106

2025年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>欧州の経済減速の影響が継続、施策に伴う個別開示項目費用計上もあり、利益予想を下方修正。グループ全体でのさらなるコスト削減等、早期の利益改善に向けてあらゆる施策を実施</p> <ul style="list-style-type: none">● 主要通貨について2024年3月期より円安を見込む● エネルギー価格や原材料価格は安定的に推移するものの、インフレによる人件費等その他コスト増加は継続● コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続
建築用ガラス	<p>欧州の経済減速は当面続くが、フロート窯の生産停止により対応。太陽電池パネル用ガラスで好調が継続</p> <ul style="list-style-type: none">● 欧州：景気減速による販売数量減少・販売価格低下と、コスト増加の影響が続く● アジア：日本では販売価格が安定して推移● 北米：域内の需要軟化が継続し、販売数量が減少。米国の経済動向に注視● 南米：アルゼンチンの需要軟化が継続● 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が継続、米国で新設備が稼働開始
自動車用ガラス	<p>欧州の自動車生産減少に伴う需要減少に対し、生産体制見直し等の施策を実施。人件費等コスト増加の影響が続くが、販売価格改善交渉を継続</p> <ul style="list-style-type: none">● 自動車需要を背景に販売数量の回復は続くが、ペースは鈍化● 自動車メーカーと、投入コスト増加の影響を軽減するための価格改善交渉を継続● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>多くの市場が回復し堅調に推移。コスト増加の影響を販売数量および販売価格の改善で吸収</p> <ul style="list-style-type: none">● ファインガラスは、IT市場が回復● プリンター用レンズは、プリンターメーカーの生産数量増加に伴い需要回復● グラスコードは、補修用で販売数量が増加

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における 財務目標の進捗状況

「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況

欧州経済減速の影響を大きく受ける。

引き続き収益性を向上させキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2025年3月期（4-12月期） 実績
収益性 (P/L)	営業利益	640億円		108億円：主に欧州経済減速の影響
	営業利益率 (ROS)	7%	10%以上	1.7%：第2四半期から0.7pt低下
▼				
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△464億円：営業減益および運転資本増加によりフリー・キャッシュ・フローはマイナス
▼				
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	4,420億円		5,654億円：フリー・キャッシュ・フローのマイナスによる増加
	自己資本比率	15%		11.7%：前期末から0.7pt低下

4. 欧州の事業環境と施策

欧州の事業環境と施策

欧州では、建築用ガラス事業および自動車用ガラス事業ともに付加価値製品の需要は中長期的に拡大。
コスト削減、付加価値製品の強化による脱コモディティ製品化により対応

1. 欧州の事業環境

- 直近ではインフレ拡大、高金利の継続に伴う経済減速の影響を大きく受けて需要が減少
- 金利の低下が始まっており、それに伴う段階的な経済回復を期待
- 建築用ガラス事業では、エネルギー効率改善のためのリノベーション需要は中長期的に拡大
- 自動車用ガラス事業では、自動車生産台数の緩やかな改善に伴い需要が回復

2. 施策～「2030 Vision : Shift the Phase」の「Business Development」に基づく脱コモディティ製品化

- 建築用ガラス事業では、アップストリーム（板硝子生産工程）の削減およびダウンストリーム（板硝子加工工程）の脱コモディティ製品強化
- 自動車用ガラス事業では、生産体制の見直し等によるフットプリントのさらなる適正化やオペレーションコストの削減による徹底的な収益性改善

欧州の事業環境と施策

3. 主な施策

(1) 建築用ガラス事業でのアップストリーム削減および自動車用ガラス事業でのコスト削減

事業	国	概要	公表日	実施時期	コスト削減効果		
					年間	2025年3月期	2026年3月期
建築用 ガラス	英国	フロート板ガラスと型板ガラスの溶融窯を共用化	2023年4月21日	2025年4月	約4億円	-	約3億円
	ドイツ	バイアハマー工場のフロート窯1基の生産停止	2024年3月19日	2024年6月	約20億円	約15億円	約20億円
	ドイツ	グレートベック工場のフロート窯1基の生産停止	2024年10月10日	2025年1月	約30億円	約5億円	約30億円
自動車用 ガラス	ドイツ	ヴィッテン工場の生産体制見直し	2025年1月24日	2025年 6月～8月	約11億円	-	約5億円

(2) 建築用ガラス事業でのダウンストリームの脱コモディティ製品化の進捗状況

概要	国	実施時期	進捗状況
複層ガラス、トリプル複層ガラス	主にポーランド	実施中	年率5%増加を目指して計画通り進捗中
先進的なコーティング技術を活用した製品低放射（Low-E）ガラス等	英国、ポーランド	実施中	年率4%増加を目指して計画通り進捗中
大型ラミネート合わせガラス	ドイツ	2025年12月	計画通り進捗中

5. まとめ

まとめ

1. 2025年3月期 第3四半期決算概要

- 欧州経済減速の影響が建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業において継続。売上高は為替影響もあり前年同期で増収だが、営業利益は減益
- 欧州の建築用および自動車用ガラス事業で販売価格と稼働率が低下。人件費等の増加によりその他コスト増加も継続
- 自己資本比率は11.7%と前期末比で0.7pt低下。有利子負債は営業減益、運転資本増加に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより前期末比で増加

2. 2025年3月期 業績予想

- 欧州経済減速の影響およびこれに対する施策による個別開示項目費用計上を踏まえ、利益予想を下方修正
- 早期の業績回復に向け、建築用ガラス事業においてドイツのフロート窯2基の生産停止等、自動車用ガラス事業においてドイツ・ヴィッテン工場の生産体制見直しの他、代表執行役等の報酬の自主返上を実施
- グループ全体でのさらなるコスト削減等、早期の利益改善に向けてあらゆる施策を推進し、通期業績予想の達成および2026年3月期の黒字回復に注力

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における財務目標の進捗状況

- 欧州経済減速の影響を大きく受ける。引き続き収益性を向上させキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

4. 欧州の事業環境と施策

- 欧州では、建築用ガラス事業および自動車用ガラス事業ともに付加価値製品の需要は中長期的に拡大。コスト削減、付加価値製品の強化による脱コモディティ製品化により対応

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

連結損益計算書

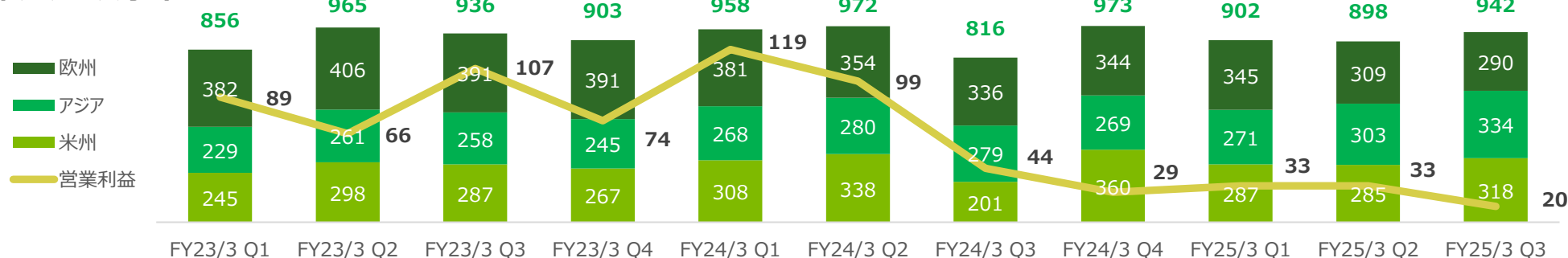
四半期別推移

(億円)	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,779	1,977	1,906	1,973	2,080	2,122	1,925	2,198	2,164	2,060	2,075
営業利益	83	62	97	107	146	115	61	38	48	55	6
営業利益率	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%	7.0%	5.4%	3.2%	1.7%	2.2%	2.7%	0.3%
個別開示項目 (その他)	23	△ 473	10	△ 12	△ 8	11	6	△ 8	2	△ 2	△ 25
個別開示項目後営業利益 (△損失)	106	△ 411	107	94	138	125	67	29	49	53	△ 19
金融費用 (純額)	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61	△ 64	△ 77	△ 64	△ 78	△ 60	△ 66	△ 56
持分法適用会社に対する金融債権の減損損失の戻入益 (△損失)	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-
持分法による投資利益	22	10	21	20	10	12	15	14	11	14	12
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	△ 12	5	△ 4	△ 4	11	△ 0	△ 1	△ 0	-	-	-
税引前利益 (△損失)	88	△ 434	77	49	133	61	17	△ 35	0	1	△ 64
当期利益 (△損失)	33	△ 403	22	38	75	30	36	△ 32	27	△ 61	△ 59
純利益 (△損失)*	24	△ 412	17	34	70	27	37	△ 29	24	△ 63	△ 62
EBITDA	180	161	202	207	253	226	170	168	175	175	130

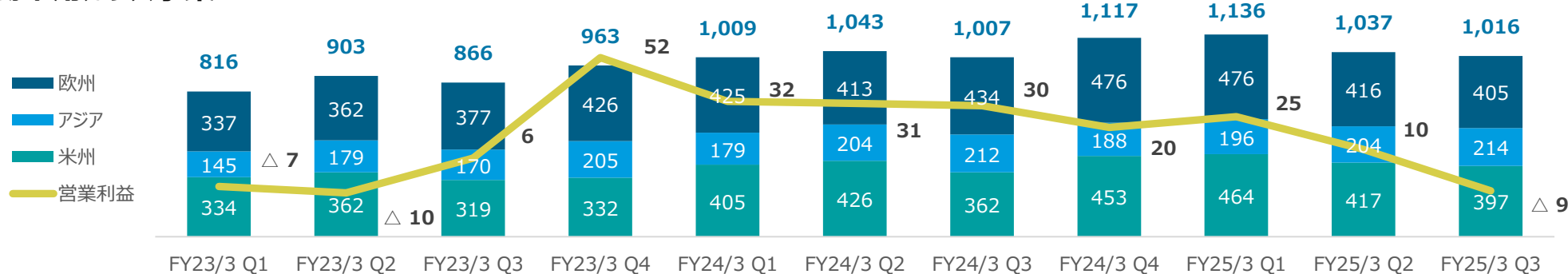
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

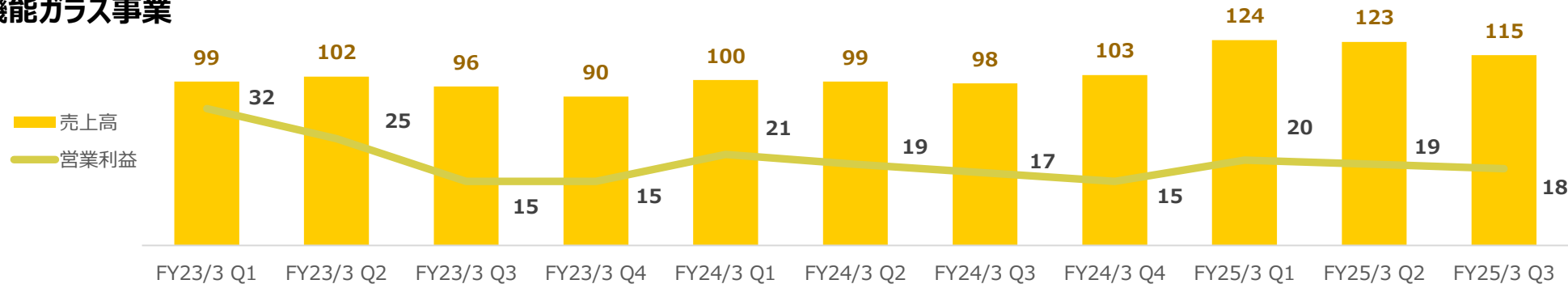
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2023年3月期					2024年3月期					2025年3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	856	965	936	903	3,659	958	972	816	973	3,718	902	898	942	2,741
欧州	382	406	391	391	1,571	381	354	336	344	1,415	345	309	290	944
アジア	229	261	258	245	992	268	280	279	269	1,096	271	303	334	908
米州	245	298	287	267	1,096	308	338	201	360	1,206	287	285	318	890
営業利益	89	66	107	74	336	119	99	44	29	291	33	33	20	86
売上高: 自動車用ガラス	816	903	866	963	3,547	1,009	1,043	1,007	1,117	4,176	1,136	1,037	1,016	3,189
欧州	337	362	377	426	1,502	425	413	434	476	1,747	476	416	405	1,297
アジア	145	179	170	205	699	179	204	212	188	783	196	204	214	613
米州	334	362	319	332	1,347	405	426	362	453	1,645	464	417	397	1,279
営業利益	△ 7	△ 10	6	52	41	32	31	30	20	113	25	10	△ 9	26
売上高: 高機能ガラス	99	102	96	90	388	100	99	98	103	399	124	123	115	362
欧州	21	25	22	27	95	25	26	26	30	106	28	23	23	74
アジア	75	73	70	58	276	71	69	67	69	275	91	95	89	275
米州	4	5	4	4	16	4	5	5	4	18	5	5	3	12
営業利益	32	25	15	15	87	21	19	17	15	71	20	19	18	57
売上高: その他	8	7	9	18	41	13	8	5	6	33	2	2	3	7
営業利益	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115	△ 27	△ 34	△ 30	△ 26	△ 117	△ 31	△ 7	△ 23	△ 62
売上高: 合計	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635	2,080	2,122	1,925	2,198	8,325	2,164	2,060	2,075	6,300
営業利益	83	62	97	107	348	146	115	61	38	359	48	55	6	108

地域別売上高および営業利益

(億円)	2024年3月期 4-12月期			2025年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	2,419	39%	39	2,315	37%	△ 189	△ 104	△ 228
アジア	1,629	27%	231	1,796	29%	271	167	40
米州	2,053	34%	142	2,181	35%	88	128	△ 54
その他 *	27	0%	△ 91	7	0%	△ 62	△ 19	30
合計	6,127	100%	321	6,300	100%	108	173	△ 213

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2024年3月期 4-12月期	2025年3月期 4-12月期
非流動資の売却による収益	-	3
引当金の戻入益	-	2
非流動資産の減損損失の戻入益	2	0
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	9	△ 1
棚卸資産の評価減	△ 2	△ 1
非流動資産の減損損失	△ 6	△ 1
リストラクチャリング費用	△ 3	△ 29
子会社および事業の売却による利益	10	-
その他	△ 0	△ 0
個別開示項目 純額	9	△ 25

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	163	163	164	163	172	177	179	182	197	195	195
ユーロ	138	139	140	141	150	153	154	157	168	165	164
米ドル	129	134	137	135	138	140	143	144	156	152	152
ブラジル・リアル	26.4	26.4	26.5	26.3	27.7	28.6	29.0	29.4	29.9	28.3	27.5
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用										

2025年 3月期
見通し
195
164
152
27.5

期末レート

	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	165	161	160	165	183	182	181	191	204	191	196
ユーロ	142	141	140	145	158	157	157	163	173	159	162
米ドル	136	145	132	133	145	148	143	152	162	143	157
ブラジル・リアル	26.2	26.7	25.7	26.2	29.8	29.5	29.2	30.4	29.3	26.2	25.3
アルゼンチン・ペソ	1.09	0.98	0.76	0.64	0.57	0.42	0.18	0.18	0.18	0.15	0.15

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円安になった場合の影響額

	2024年 3月期
資本	38.0億円の増加
当期利益	1.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2024年3月期 4-12月期	2025年3月期 4-12月期	2025年3月期 見通し
減価償却費	329	373	490
資本的支出	385	389	630
通常投資	248	199	330
戦略投資	137	190	300
研究開発費	74	79	114
建築用ガラス事業	24	29	
自動車用ガラス事業	23	24	
高機能ガラス事業	6	7	
その他	21	19	

NSG

GROUP